

篠山市地域防災計画の平成24年度改訂の主な内容について(案)

1 計画の改訂について

篠山市地域防災計画は、災害対策基本法に基づき、平成13年に策定した後、国の防災基本計画や兵庫県地域防災計画との整合を図るとともに、過去の災害の教訓から、必要な見直し・改訂を行っています。

今回の改訂では、東北地方を中心に甚大な被害をもたらした東日本大震災での教訓や、本年6月に改訂された兵庫県地域防災計画との整合を図るため、改めて本市地域防災計画を再点検し、必要な見直しを行うものです。

また、大きく改訂をした平成20年度以降、防災関連施設の更新等、記載事項に変更が生じている部分があるので、併せて改訂するものです。

2 改訂の考え方

今回の計画の改訂に当たっては、特に次の項目に基づいて改訂を行うこととします。

「★」・・・防災会議で協議を必要とする項目

「・」・・・軽微な変更のため既に計画の変更を行ったため事後報告を行うもの

(1) 国・県の法律、条例、計画等の変更に伴う改訂

①災害対策基本法改正に伴う改訂

・防災会議の所掌事務の見直し（風水害編新旧対照表 P.1）

災対法改正に伴い、「市長の諮問に基づいて市の地域に係る防災に関する重要事項を審議すること」、「市の地域に係る防災に関する重要事項に関し、市長に意見を述べること」を追記し、従前規定されていた「災害が発生した場合の情報収集等」は、災害対策本部で行うこととした。

・都市計画などの行政計画に防災の観点を取り入れる（風水害編新旧対照表 P.7）

災害対策基本法改正に伴い、都市計画を行う時点から防災の観点を取り入れていく必要性があることを追記

②兵庫県地域防災計画見直しに伴う改訂

★計画の基本的な考え方について追記（風水害編新旧対照表 P.1）

これまでの計画が、「防災」という視点で対策が講じられてきたことから、いかに災害を減らしていくかという「減災」という視点を取り入れ、そのために必要な基本的な考え方を、兵庫県の計画に倣い次の4つの項目に整理して記載することとした。

「減災対策の推進」、「自助・共助・公助が一体となって取り組む防災

の推進」、「新しい「災害文化」の確立」、「多様な主体の協働により立ち向かう防災の推進」の追記

・**兵庫県住宅再建共済制度の改訂**（風水害編新旧対照表 P. 10）

「家財再建共済制度」創設に伴う改訂

★**地震被害想定の見直し**（地震編新旧対照表 P. 8）

兵庫県による主な地震の被害想定がまとめられたことから、篠山市における想定地震として、篠山市直下の「御所谷断層帯」、福知山市近辺の「三峠断層帯」、南丹市近辺の「京都西山断層帯」、「東海・東南海・南海地震」の被害想定を記載

今回の被害想定を基に、被害を少しでも軽減するため、家屋の耐震工事、家具などの固定化などの防災対策の市民への啓発、また、地震発生後の対応として、仮設住宅の設置場所等の検討、福祉避難所の拡充の検討、民間企業等との災害応援協定の締結など、具体的な防災対策について検討を進めていく。

（２）これまでの災害等の教訓を踏まえた改訂

①**東日本大震災の教訓を踏まえた改訂**

★**原子力施設での事故等に対する災害等の対応の見直し**

（風水害編新旧対照表 P. 6）

これまでの計画では、原子力施設での事故等は想定していなかったが、東日本大震災の教訓を踏まえ、災害が発生することを想定した対応をとることとした。

現在、篠山市原子力災害対策検討委員会を設置して、防災対策の検討を行っている。

・**広域自治体との災害応援協定の締結**（風水害編新旧対照表 P. 7）

篠山市では、東日本大震災の教訓を踏まえ、13の広域自治体と災害応援協定を締結したことを追記

・**他の自治体からの受援体制の構築**（風水害編新旧対照表 P. 7）

東日本大震災の教訓を踏まえ、他の自治体からの受援体制の構築のため、マニュアルを作成することを追記

②**男女共同参画を踏まえた防災体制**

★**女性や子育て家庭などに配慮した避難所運営**（風水害編新旧対照表 P. 9）

これまでの各地での災害でも明らかになったように、女性や子育て家庭に対する避難所等での配慮の必要性を追記

③新しい情報通信手段を活用した情報収集・伝達

- ・IT技術（J-Alertなど）を活用した情報収集・伝達

（風水害編新旧対照表 P. 8）

J-Alert（全国瞬時警報システム）、緊急速報メール（エリアメールなど）などを活用した情報収集・伝達に活用することを追記

（3）市の防災・減災対策の見直し

①市の防災体制の改訂

- ・土砂災害警戒区域を示したハザードマップの配付（風水害編新旧対照表 P. 9）

平成24年度に各戸へ配布した防災マップについて追記

- ★災害時要援護者個別避難支援計画「ささやま見守り台帳」の作成

（風水害編新旧対照表 P. 9）

平成25年度から取り組むこととしている高齢者、障害者などの要援護者に対する「ささやま見守り台帳」の作成について追記

②市の独自の防災対策の追記

- ★いのちを守る防災マップ事業の追記（風水害編新旧対照表 P. 9）

平成21年度から市独自の事業として取り組んでいる「いのちを守る防災マップづくり事業」について、全自治会での実施に向けて取り組むことを追記

（4）その他の主な改訂内容

- ①市・関係機関及び団体等の組織名称等の変更
- ②すでに運用で見直している体制等の時点改訂
- ③その他、社会情勢の変化等に伴うもの

3 今後の対応

この地域防災計画は、篠山市における防災対策の根幹をなすものとして、篠山市防災会議が策定するものです。

東日本大震災の後、様々な観点から国や各地方自治体の防災体制の見直しが図られましたが、今後も立ち止まることなく、減災に向けた更なる対応を図っていくことが求められます。

本市においても、引き続き、地域防災計画に基づく対策を図りながら、随時、計画の点検・検証を行い、その都度、必要な改訂を加えていくものです。

篠山市における原子力災害に対する防災の取り組み

●篠山市原子力災害対策検討委員会

【委員会の目的】

篠山市は、高浜原発から45キロ～70キロの位置にあり、原子力発電所で事故が発生した場合、東日本大震災の被災状況を踏まえると放射線が流れ込んでくることが想定されるため、国・県の災害対策計画・マニュアルとの整合を図りつつ、本市の災害対策計画、災害対策マニュアルを検討する。

【これまでの経過】

- ・第1回委員会 H24.11.21
原子力防災計画策定方針の検討
- ・第2回委員会 H24.12.9
早急な防災対策の検討 ※1
- ・第3回委員会 H25.2.21 予定
計画内容の検討の進め方

市としては、平成25年度中に原子力防災計画を策定予定

※1 早急な防災対策の検討の内容

○安定ヨウ素剤の備蓄

安定ヨウ素剤の服用対象者、量、保管方法、配布方法等が、具体的に決まっていないため、具体化された段階で補正対応の予定。

○放射線測定器の整備 (H25当初予算計上)

放射線簡易測定器を8台、放射線測定器を1台購入予定。

(本庁、各支所、大芋地域及び西紀北地域公共施設に配備)

○市民への防災研修の実施 (H25当初予算計上)

原子力防災フォーラム、市内数か所での原子力防災学習会の開催

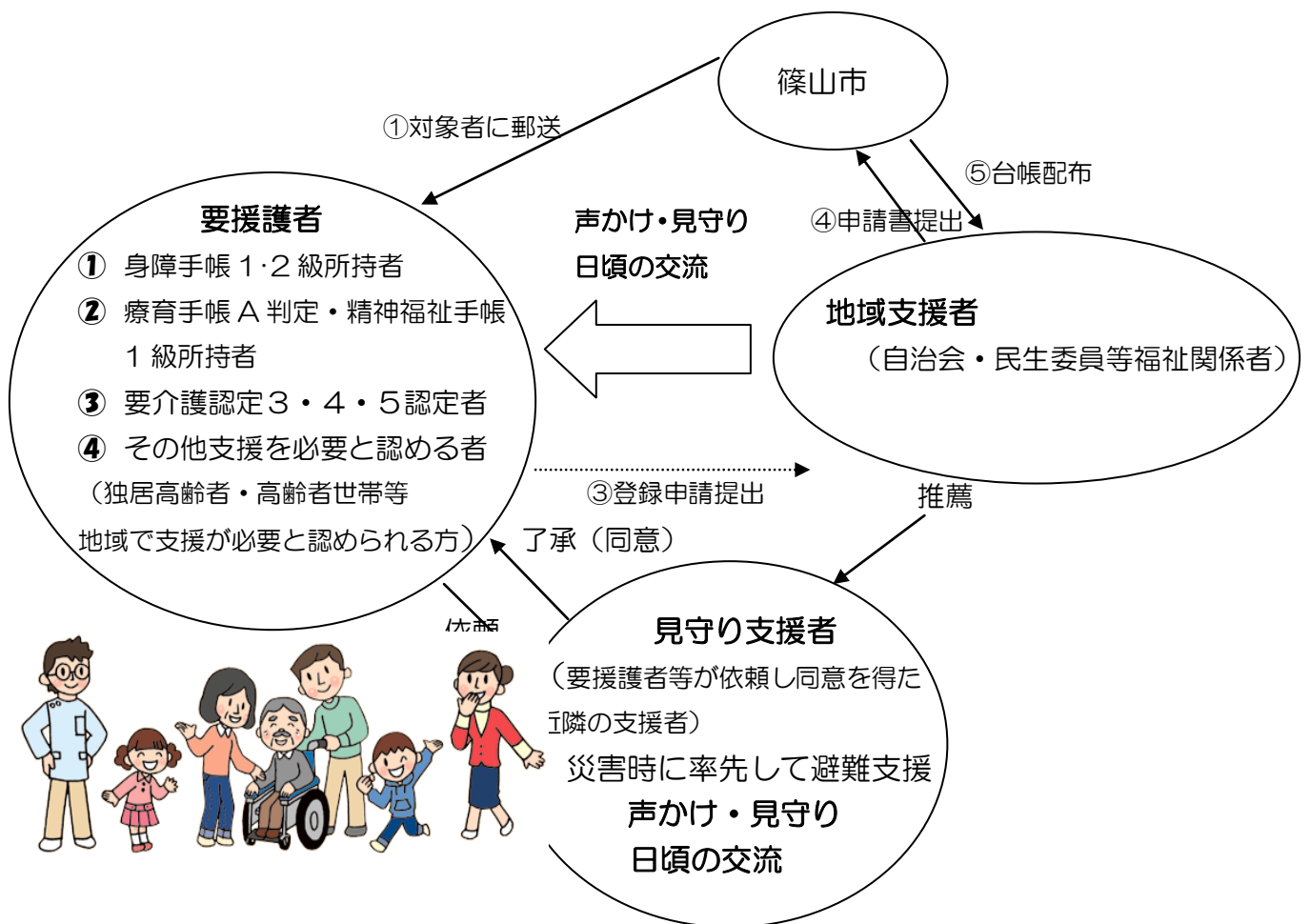
原子力災害対策検討委員会委員名簿

平成24年12月12日現在

上紺屋 憲彦	兵庫医科大学	学識経験者
守田 敏也	フリーライター	学識経験者
森口 久	篠山市自治会長	自治会関係
岩谷 晃圓	篠山市民生委員児童委員協議会長	民生児童委員関係
井上 淳一	篠山市医師会	医療関係
市野 哲雄	篠山市消防団長	消防団
松田 太輔	副局長	兵庫県丹波県民局
玉山 ともよ		一般市民
橋本 敬子		一般市民
畑 弘恵		一般市民
石田 宇則		一般市民 (公募)
大月 傑		一般市民 (公募)
居村 愛一郎		一般市民 (公募)
神田 幸久		一般市民 (公募)
平野 斉	副市長	篠山市

「ささやま見守り台帳」について

篠山市では、災害時に8自力で避難することが困難な高齢者や、障害のある方などの災害時要援護者のみなさまに、速やかに避難していただくため、それぞれの地域において自助（自分の身は自分で守る）・共助（助け合い）を基本とした要援護者の支援体制を整備し、災害時だけでなく平常時においても地域ぐるみで「見守り」を行うことにより、安心して暮らせる地域づくりをめざします。



「ささやま見守り台帳」の対象となる方

	篠山市全体 (人)	備 考
障害者手帳保持者	2,681	平成24年12月末現在
要介護認定者	2,266	平成25年1月18日現在
一人暮らし高齢者	1,453	平成24年12月末現在

※上記の数値はそれぞれ重複している。

いのちを守る防災マップづくり事業の取り組み

平成21年度から進めている事業で、自治会を対象に、地域住民全員が参加して、地域の防災マップを作るための支援を行っている。

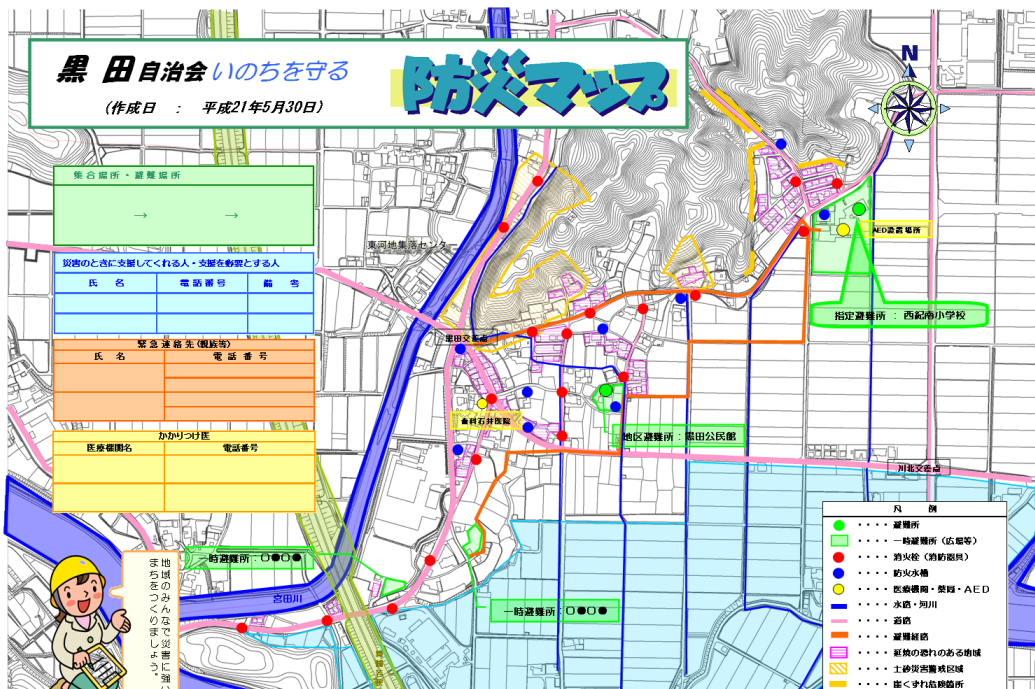
現在の実施済み自治会数 105自治会/264自治会



【マップづくりの効果】

- ・自分の住んでいる地域の危険な場所、安全な場所の再確認
- ・過去の災害の情報共有
- ・避難所までの避難経路の確認
- ・安全な避難所の確認
- ・高齢者などの要支援者の支援体制の確認

など



地域で作ったマップを、コンピューターで処理して、上手のようなマップ（A3版）に仕上げ住民全員に配布している